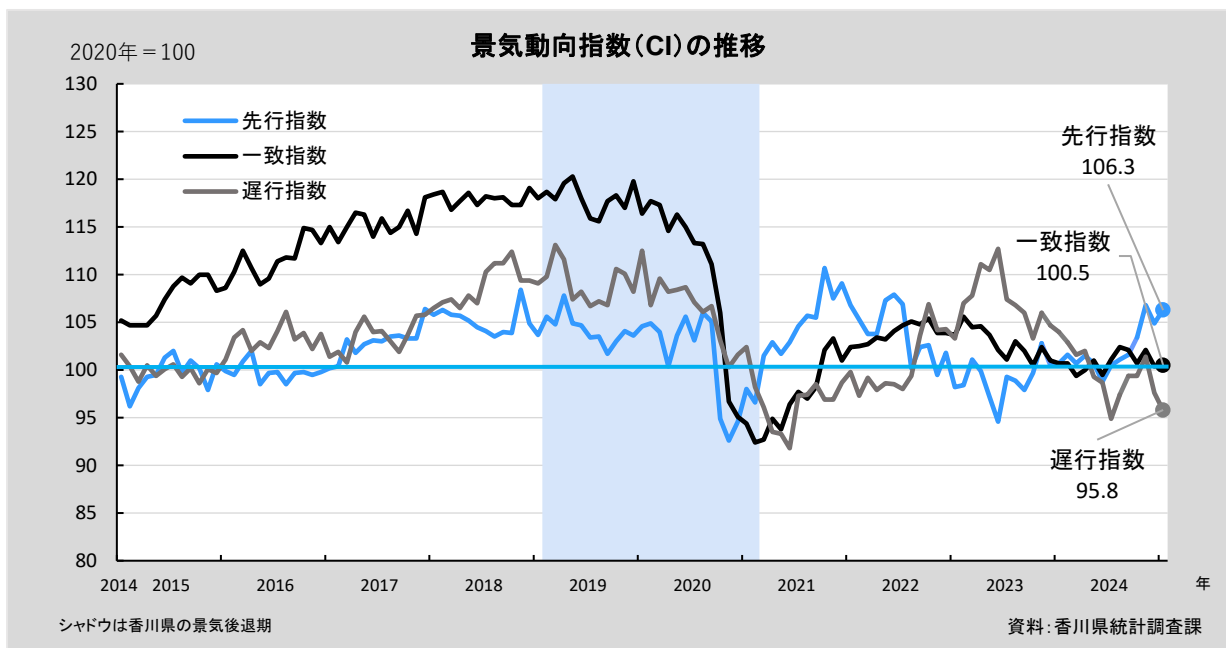


概況	緩やかに持ち直している。
個人消費	堅調に推移している。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出は増加、輸入は減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

### 景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月ぶり上昇



景気の現状をみると、7月のCI一致指数は100.5（前月比+0.1ポイント）と2カ月ぶりに上昇。CI先行指数は106.3（同+1.4ポイント）と2カ月ぶりに上昇。CI遅行指数は95.8（同▲1.8ポイント）と2カ月連続で下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、鉱工業生産指数、雇用保険受給者実人員等が上昇に寄与し、前月から0.1ポイント上昇となった。

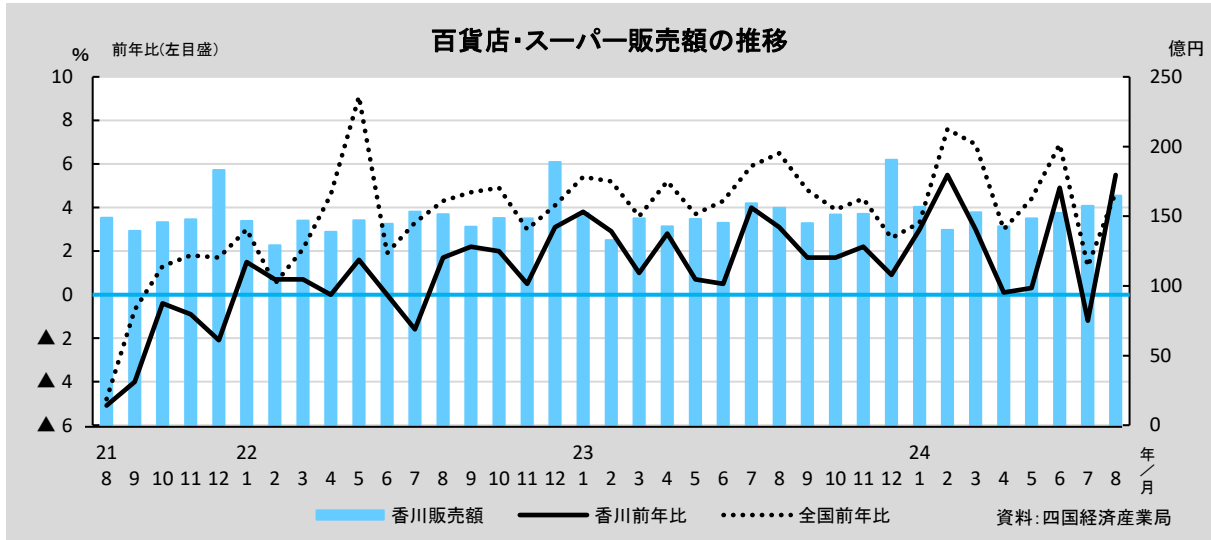
先行系列		寄与度	一致系列		寄与度	遅行系列		寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	1.20	1 雇用保険受給者実人員	0.58	1 常用雇用指数	▲ 0.75		
	2 乗用車新車登録台数	▲ 0.51	2 有効求人倍率	▲ 0.00	2 有効求職者数	0.68		
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.61	3 所定外労働時間指数	0.09	3 消費者物価指数	▲ 0.27		
	4 生産財生産指数	1.04	4 鉱工業生産指数	0.97	4 家計消費支出	▲ 1.85		
	5 新設住宅着工戸数	0.23	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.54	5 鉱工業在庫指数	1.00		
	6 金融機関貸出残高	▲ 0.37	6 建築着工床面積	0.06	6 法人事業税調定額	▲ 0.26		
	7 消費者態度指数	0.63	7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.99	7 第3次産業活動指数	▲ 0.18		

個人消費

堅調に推移している

●百貨店・スーパー販売額

2カ月ぶり増加 ↑

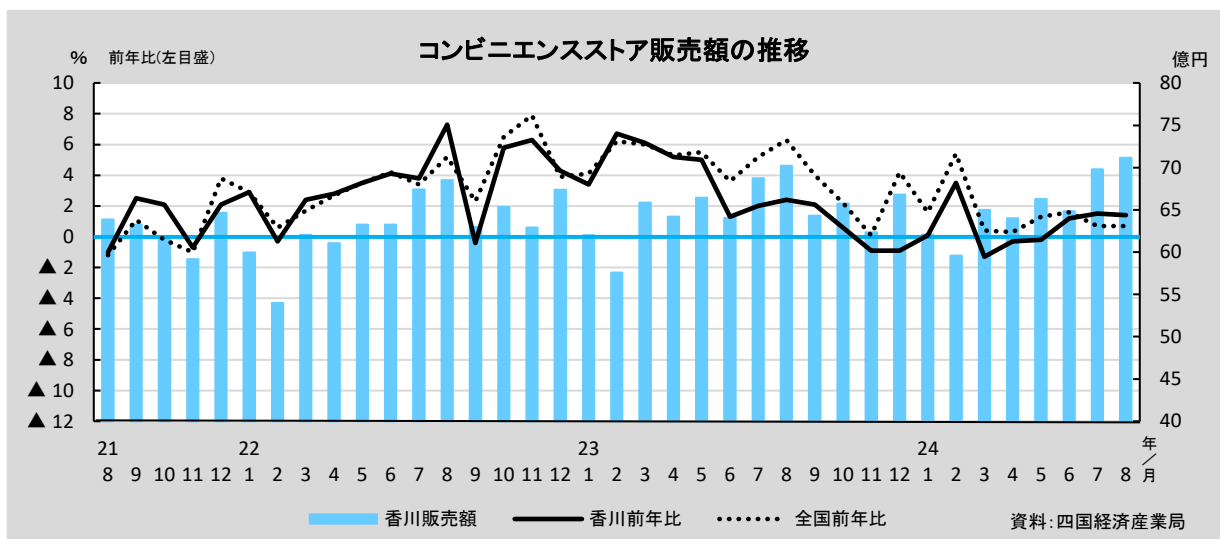


2024/8月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	78,541	64,068	1,254,592	1,621	5,171	77,239	165,587	519	1,647,338
前年同月比(%)	▲1.9	5.0	5.2	▲26.5	0.9	11.3	9.9	▲1.5	5.5

8月の百貨店・スーパー全店（83店）の販売額は164.7億円で、前年同月比+5.5%と2カ月ぶりに増加した。「飲食料品」は地震や台風の影響による保存食などのまとめ買いが増え同+5.2%、「その他の商品」は高級時計や宝飾品などが好調で同+9.9%となった。一方「衣料品」は紳士服や子供服などが伸び悩み同▲1.9%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

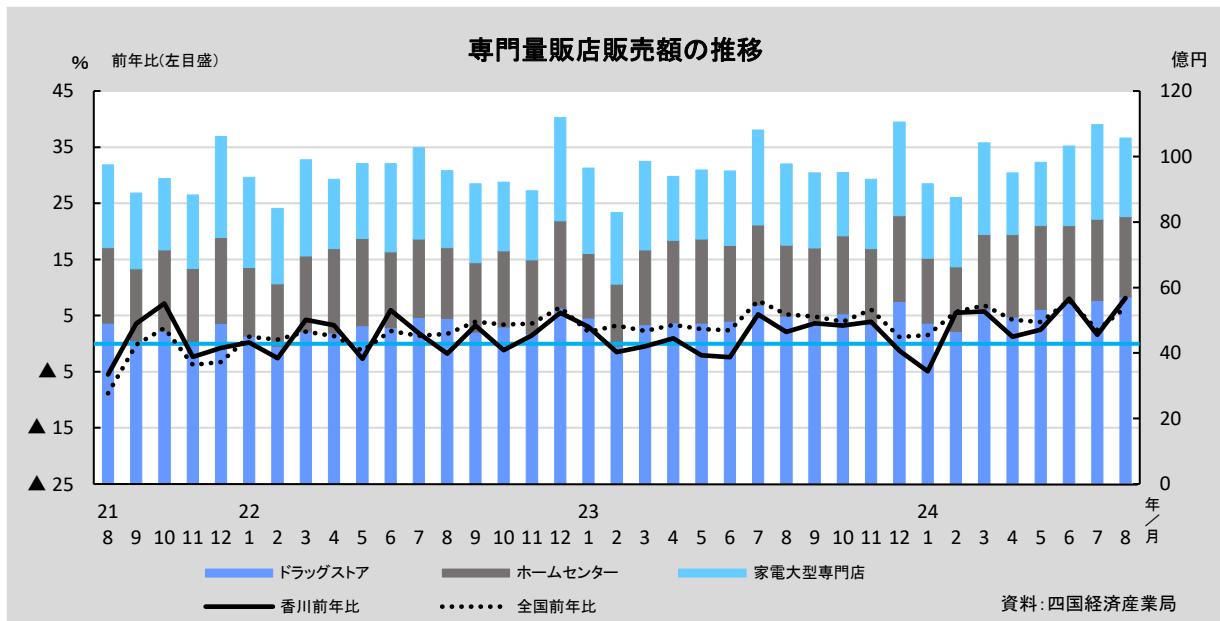
3カ月連続増加 ↑



8月のコンビニエンスストア全店（405店）の販売額は71.2億円で、前年同月比+1.4%となり、3カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

7 カ月連続増加

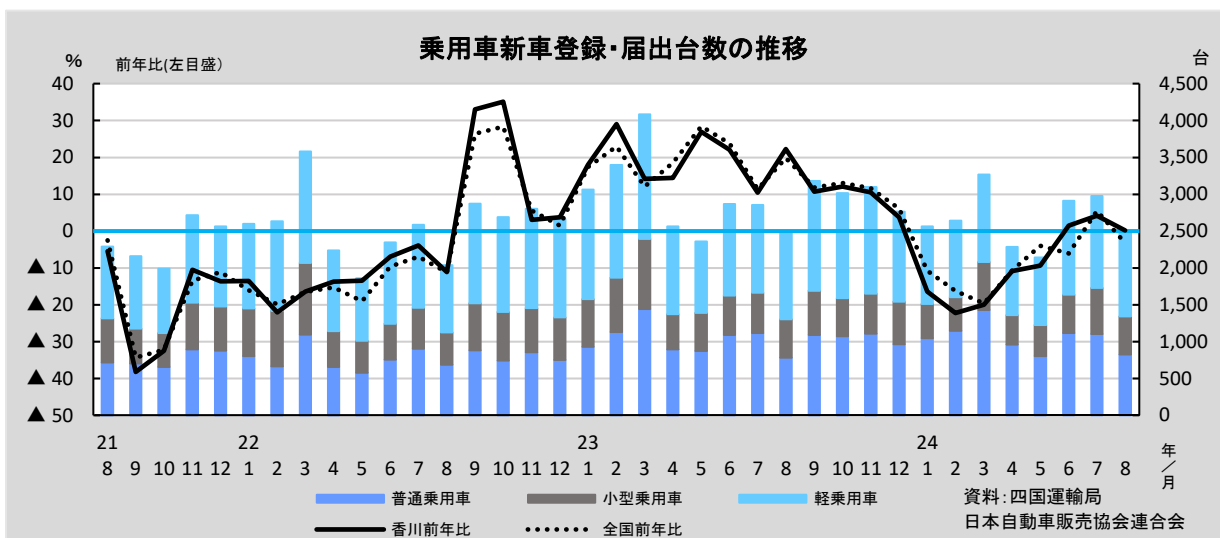


8月の専門量販店全店（222店）の販売額105.7億円で、前年同月比+8.1%と7カ月連続で増加した。

業態別にみると、家電大型専門店（28店）の販売額は、24.0億円で前年同月比▲3.0%となった。ドラッグストア（147店）の販売額は、57.1億円で同+11.5%となった。ホームセンター（47店）の販売額は、24.5億円で同+12.9%となった。

●乗用車新車販売台数

3 カ月連続増加



8月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,495台で、前年同月比+0.2%と3カ月連続で増加した。

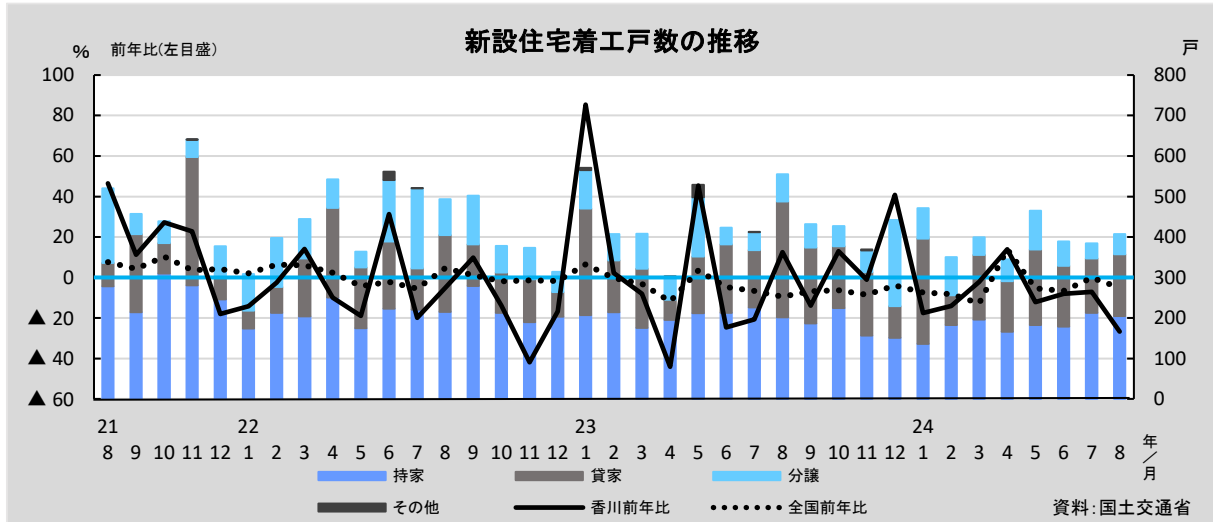
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比+5.5%、小型乗用車は同▲0.8%、軽乗用車は同▲2.9%となった。

## 住宅投資

低調に推移している

### ●新設住宅着工

4カ月連続減少 ↓



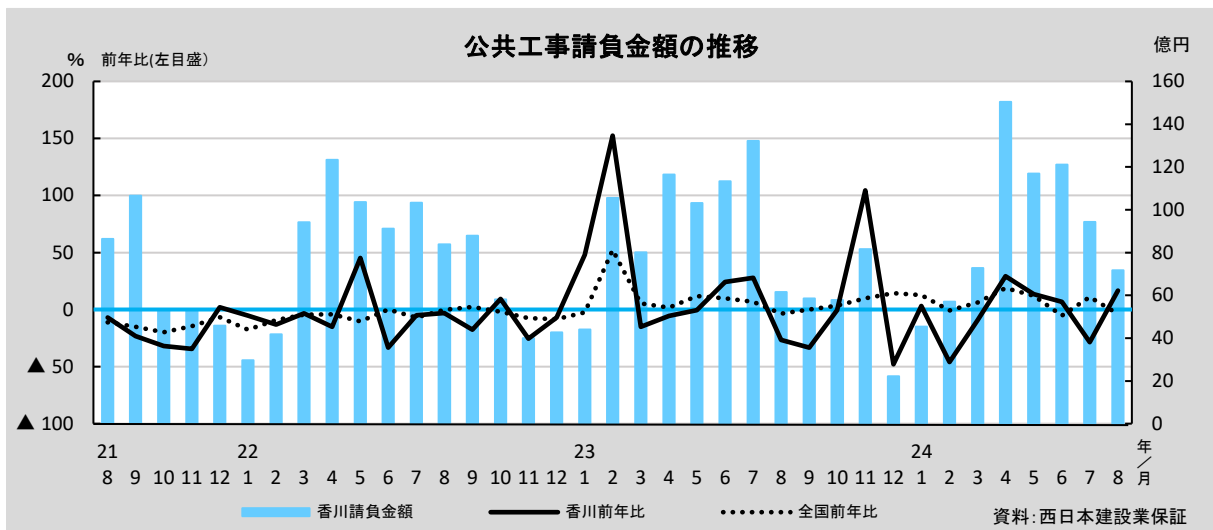
8月の新設住宅着工戸数は407戸で、前年同月比▲26.7%と4か月連続で減少しました。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+1.5%、**貸家**で同▲46.9%、**分譲住宅**で同▲25.4%となった。

## 公共投資

持ち直しの動きがみられる

### ●公共工事請負金額

2カ月ぶり増加 ↑



8月の公共工事請負金額は71.7億円で、前年同月比+16.5%と2か月ぶりに増加しました。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+103.6%、**県**で同+46.7%、**市町**で同▲14.8%となった。

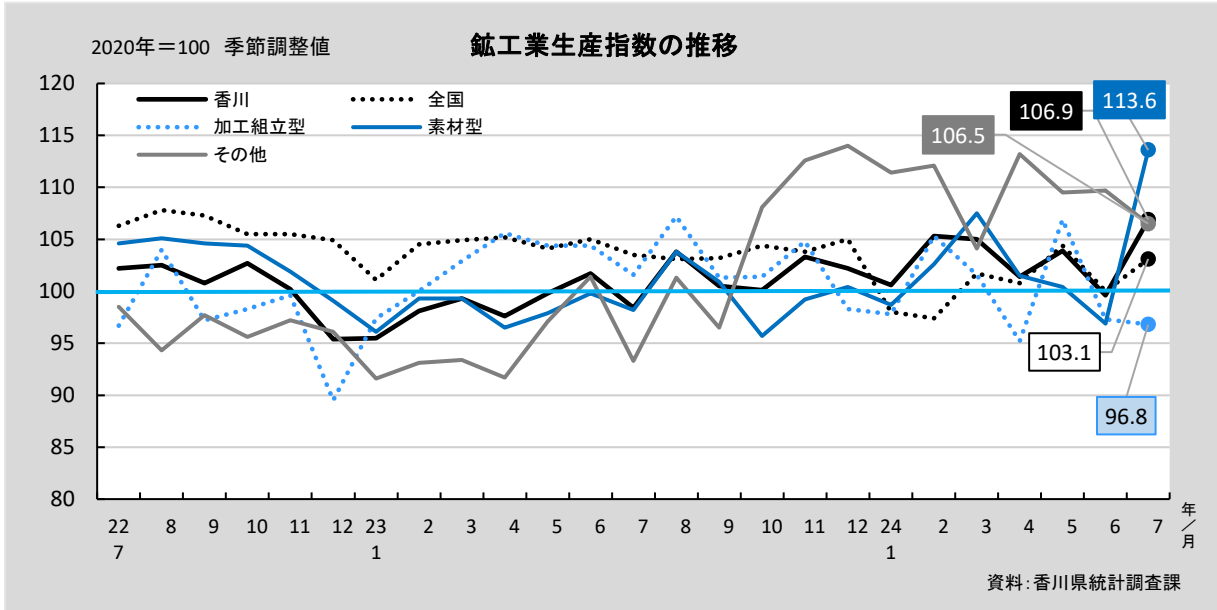
2024.4月～8月の累計では前年同期比5.3%増加している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2 カ月ぶり上昇 ↑



7月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は106.9（前月99.6）となり、2カ月ぶりに上昇した。

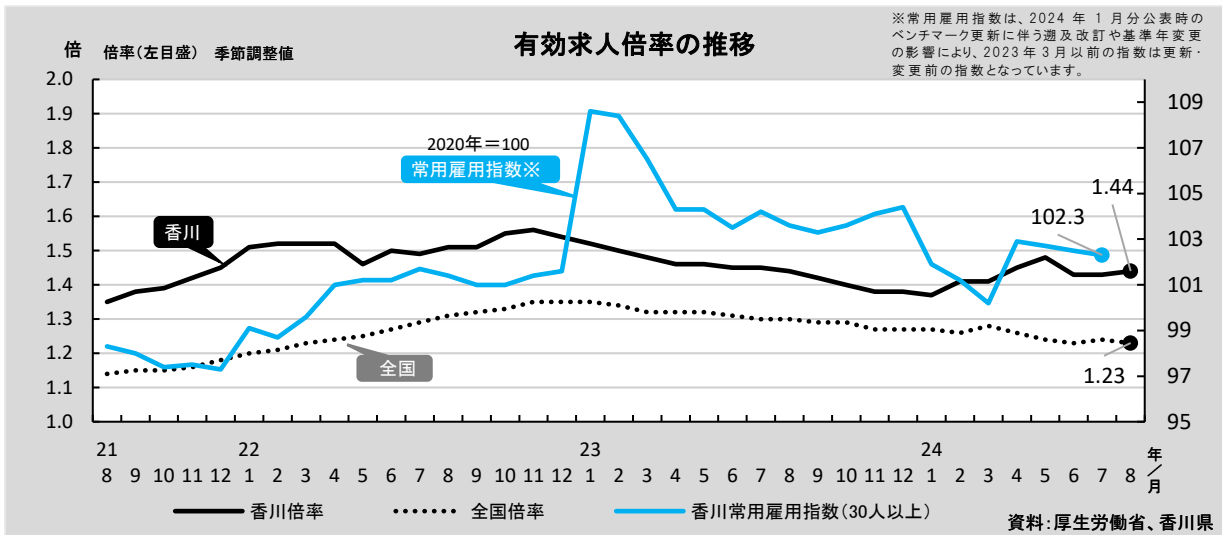
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比+54.7%、金属製品工業（アルミニウム製建具など）は同+7.6%と上昇した。一方、素材型の非鉄金属工業（電気金など）は同▲6.4%と低下した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

3 カ月ぶり増加 ↑



8月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.44倍（全国6位）で前月より0.01ポイント上昇した。

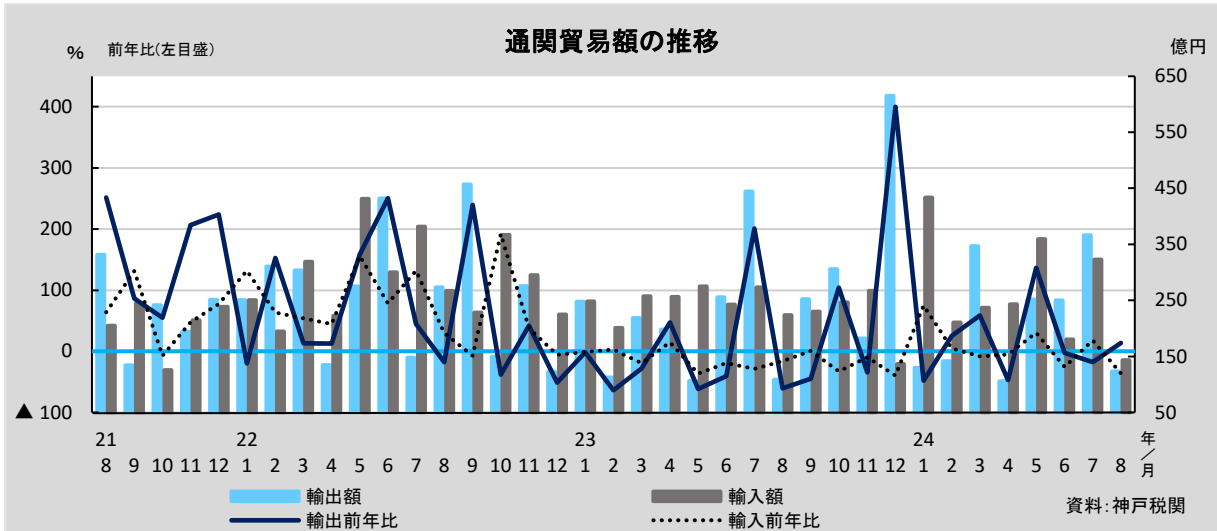
新規求人（原数値：前年同月比）は、教育・学習支援業、建設業、サービス業（他に分類されななもの）等で増加となり、全体で+2.4%と2カ月連続で増加した。

7月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、102.3となり、前年同月比は7カ月連続で減少した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.09
事務的職業	0.57
販売の職業	2.03
サービスの職業	3.27
生産工程の職業	2.62
輸送・機械運転の職業	2.55
建設・採掘の職業	6.36
運搬・清掃・包装等の職業	1.18

## 貿易

輸出は増加、輸入は減少している



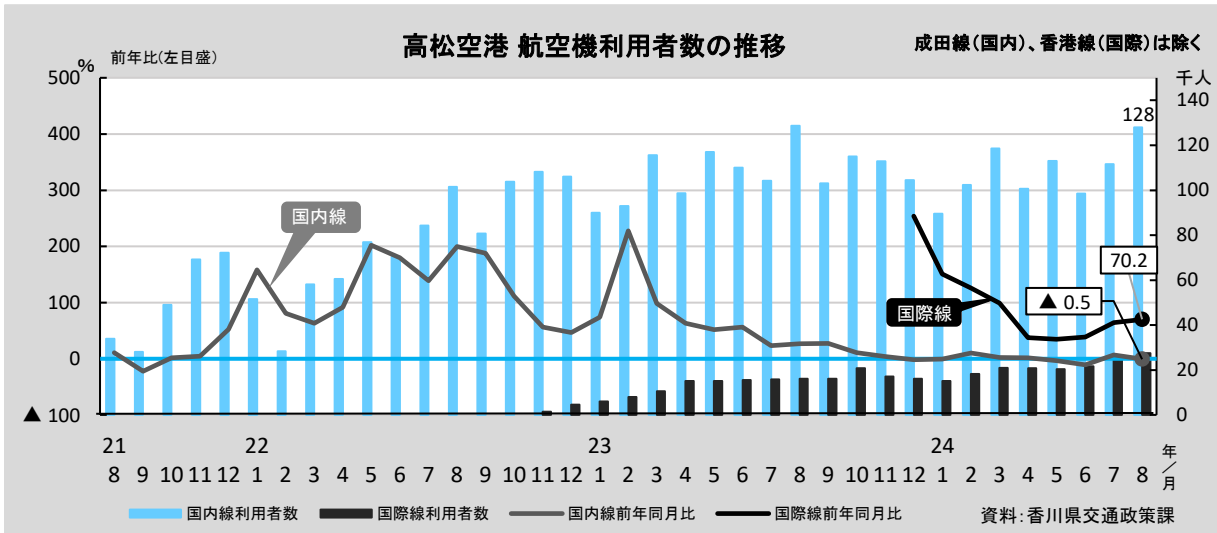
8月の輸出額は前年同月比+13.9%の123.5億円、輸入額は同▲35.9%の143.6億円となり、差し引き20.1億円の入超となっている。

輸出は、石油製品輸出額が前年同月比+84.2%の67億円となった。輸入は、前年同月48億円だった液化天然ガス輸入額がゼロとなった。

## 交通

国内線は2カ月ぶり減少、国際線は10カ月連続増加

### ●高松空港旅客輸送実績



8月の航空機利用者数は、国内線（羽田・那覇線）が127,981人（前年同月比▲0.5%）となり、2カ月ぶりに減少した。羽田線は114,493人（同▲4.8%）、那覇線は13,488人（同+62.2%）となった。

国際線は、ソウル線15,947人（同+47.2%）、上海線5,506人、台北線6,038人（同+13.5%）で合計27,491人（同+70.2%）と10カ月連続で増加した。

